



日向・入郷 ★
★ ★
山ごこち

宮崎県北部耳川流域の
山暮らし・林業・ひと





宮崎県北部耳川流域の山暮らし・林業・ひと

宮崎県北部を流れる耳川。

その流域にある1市2町2村での木々とともに生きる暮らし。東はサーフィンのメッカ、西は世界農業遺産に認定された山々。豊かな自然に囲まれ、先人の知恵や山々の恵みを糧にしながら温かな人々が穏やかに生活しています。そんな山暮らしの生活と魅力をチョコッとご紹介します。



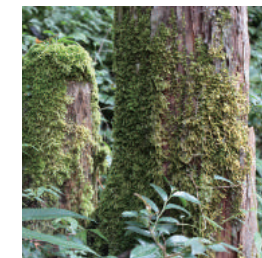
椎葉村

峻険な九州山脈に抱かれ傾斜地が多く、集落はその山間に点在しています。平家落人伝説を伝える村であり、現在でも独自の文化を維持し、神楽、臼太鼓踊、民謡、民話等、古くから伝わる慣習や伝統文化を大切に継承しています。



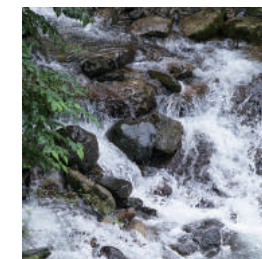
門川町

海側は黒潮香る日向灘に浮かぶ島々の絶景、振り返ると美しい山の峰々とその間を流れる五十鈴川の清流が見えます。古さと新しさの調和がとれた街並み、人情味豊かな人々が門川の魅力です。海の恵み豊かな漁師風情が漂っています。



美郷町

町内には五十鈴川・耳川・小丸川の3つの川が流れ、それぞれの風土にあった産物や文化を育んでいます。また、「師走まつり」・「御田祭」・「宇納間地藏尊大祭」といった伝統ある祭りが今なお受け継がれています。



諸塚村

古くから林業が盛んで、木材、茶、繁殖牛、椎茸生産の4つの産業を組み合わせた複合経営を推進しています。世界的なFSC®森林認証を取得しており、環境に配慮した森林管理とその産物である産直住宅や認証椎茸も評価されています。



日向市

重要港湾「細島港」を中心とした港湾工業都市でもあり、東九州随一の陸・海の物流拠点として発展を続けています。また、豊かな自然を活かした様々なレジャーを楽しめ、なかでもサーフィンは県外からも多くの方が訪れます。

山ごこち ギャラリー



最優秀賞 撮影 / 甲斐 靖一さん 場所 / 椎葉村

山里の秋

椎葉村松尾地区の棚田で出会った稲刈り作業中の方に写真を撮らせていただきました。笑顔が素敵でした。



耳川広域森林組合長賞 撮影 / 川野 政弥さん 場所 / 諸塚村

ふれあい

一昨日降った雪が道端まだ残る中、祝子さん達が道神楽を舞いながら神宿へ向かう「舞い込み」をしている一コマです。このあと、神庭の神座に神を迎えます。

お名前が掲載されている写真は「日向・東臼杵写真コンテスト」の受賞作品です。日向・東臼杵の魅力写真を写真に撮って伝えてください!との呼びかけに、県内外から多くの応募がありました。応募いただいた全ての作品は、山ごこち HP でご覧頂けます。



日向・東臼杵 山ごこちとは…



日向・東臼杵の市町村は、海から内陸に進むにつれ、市から町、町から村と山深くなっています。海沿いのコンパクトシティ日向市、水産加工業が盛んな門川町、伝統的な3大祭りが有名な美郷町、森と生きる椎茸の村諸塚村、日本三大秘境の一つ椎葉村。それぞれに魅力があり、その暮らし方も大きく変化します。

田舎で暮らしたいという人はたくさんいますが、イメージしている田舎の程度は人それぞれ違うものです。この地域はそんな幅広い田舎のニーズを満たしてくれる環境や温かい人、美しい風景が揃っています。



一般的に、田舎に行くほど人との関わりが深くなると言われます。

例えば、公民館などで定期的に行われる地区の集会、近所の助け合いが当たり前の考え方、祭りや清掃活動などに皆で取り組む姿勢、そして集会後によくある飲み会など、田舎に行くほどこうした習慣や考えは色濃くなってきます。

しかし、それは田舎の不便さを解消するため、あるいは田舎で生きていくための知恵ではないでしょうか。すぐ買い物に行けない不便さを物々交換で補ったり、病院が少なくても隣人が見守りあうことで病気の早期発見に繋がったり、困っているときに地域の人が当たり前のようにつけてくれたり・・・。

コミュニティの繋がりが深まることで、本来不便であるはずの田舎生活は、食べ物や心、心の面でも、実は豊かな生活が送れるのかもしれない。



山こ"こち ギャラリー



耳川広域森林組合長賞 撮影 / 甲斐 靖一さん 場所 / 美郷町

里山の初夏

蛍が舞うことを信じて川の中に三脚を立てカメラをセットして待つと
暗くなって少しずつ蛍が出始めピーク時にはびっくりするほどの蛍の乱舞が見られました。



優秀賞 撮影 / 松田 裕次さん 場所 / 美郷町

春の楽しみ

おばちゃん曰く「春は楽し〜」

宇納間 備長炭作り



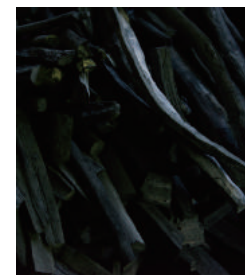
小田 米造さん(美郷町在住)

Uターンし宇納間に戻ってこられた小田さん。備長炭窯の跡を継いで10年になるそうです。子どもの頃に両親の仕事ぶりを見ていたとはいえ、全く違う仕事への転職を経験したことで、今では備長炭作りをしたいと移住してこられた方の受け入れも、積極的に行われています。



大和久 武さん(美郷町在住)

東京都出身で、以前は群馬県で働いていた大和久さん。元々田舎暮らしや伝統的な仕事に興味があったようですが、当時、家族との時間を大事にしたいと考えていた時にたまたま見た雑誌で宇納間備長炭を知り訪ねて行ったのが備長炭作りを始めるきっかけだったそうです。



備長炭窯出し日のスケジュール

| | |
|-------|---|
| 02:30 | 起床 |
| 03:00 | 窯へ行き作業を始める↓ 窯だし、冷却、仕分けを繰り返し行う↓ 途中応援が参加↓ 合間に休憩と昼食休憩 |
| 16:00 | 作業終了 |
| 17:00 | 帰宅 |
| 18:00 | 夕食 |
| 20:00 | 就寝 |

仕事の魅力

炭作りの作業は通常、20～30日のサイクルですが、宇納間では品質にこだわり 40 日かけてじっくりと炭素化するので、密度が高く硬い炭となります。アラカシの木を使って出来上がった炭は 12 種類に分類されますが、高品質なものは艶のある黒さで、叩くと金属音がするんですよ。一度火をつけると長時間燃え続け、特有の匂いも少ないので料亭で好まれているそうです。こだわって作った自分の炭が、どこかで美味しい料理作りに関わっているんだなと思いますね。

仕事の魅力

12年前突然やってきた見ず知らずの自分たちに対し、地域の人は炭焼きのことから住まいのことまで親身にお世話をしてくれました。そのおかげで、今では自分の窯を持ち、一通りのことをやっていると自負しています。宇納間の魅力は温暖な気候と人との繋がり、そして子どもを育てるのに適した自然環境だと思っています。宇納間の備長炭作りには歴史があり、今では自分がそれを次の世代に伝えることも大切な役割だと思っています。



木業



鈴木 修一さん(日向市在住)

もともと土木関係の仕事を2年程されていた鈴木さん。知り合いの紹介がきっかけで林業を始め、今年で17年目。勤勉さと仕事に対する前向きな態度が評価され、現在35歳にして林産班の班長を務めています。



スケジュール

| | |
|-------|-------------|
| 05:30 | 起床 |
| 06:30 | 班の集合 |
| 07:00 | 現場到着→作業 |
| 11:30 | 昼食・休憩(1時間) |
| 12:30 | 作業 |
| 16:00 | 作業終了→移動 |
| 17:30 | 自宅到着→家族との時間 |
| 22:00 | 就寝 |

仕事の魅力

サラリーマンと異なり、自然が相手なのでストレスがないこと。また、林産班の仕事で最も大事なことはチームワーク。現場ごとに仕事のやり方も異なり、現場にあった作業の流れを考えないといけないけど、イメージした通りにチームが機能し、スムーズに作業が進むととても気持ちがいいです。また、現場の仕事をやり終えた時の達成感もあります。最初はわからないことばかりで焦るかもしれないけど、1年経てば大抵のことは覚えられますので、慌てないことが大事。それが安全にもつながります。また、チェーンソーや重機の操作などを覚えてくると自信にも繋がり、やりがいも感じてくると思います。



今西 正さん

今西 猛さん(美郷町在住)

美郷町南郷渡川地区で山師の今西兄弟といえば知らない人はいないほどの有名人。2人ともUターン者です。渡川に戻った猛さんが家業の林業にネット配信を加え、故郷の良さを生かしながら自分らしく生活していくためのシステムを構築しようと奮闘している姿に背中を押された正さんは、山師として働くようになりました。



仕事の魅力

ひと言で「林業」といってもたくさんの仕事があります。植林や伐採、椎茸栽培も林業です。僕は植林が主な仕事になります。春に植林、木の手入れ、夏は草刈り、冬に除間伐。それが1年間のだいたいの流れです。この仕事は、自分たちの時間を作ることができるのが良いですね。真夏の草刈りはつらい作業の一つですが朝の6時から山に入って作業して、昼には終わって川で魚を釣るなど、のんびり過ごすこともできます。渡川に帰ってきた理由が「ここで子育てしたい」と思ったから。家族の時間を作ることができる、子どもに合わせた働き方ができるのは魅力だと思います。



林業で働く女性たち



働きながら子育てができる
女性にとって魅力的な職場です。



切りたての木の匂いが
一番好きです。
木に触れていると
温かく癒されます。



豊かな自然の中、
地域の皆さんに大事にされながら
子どもたちがのびのび育つ。



現在 3人の子どもの母である裕子さんは、元々金融機関で働いていました。当時、残業や出張、転勤がある仕事だと今後、子育てと両立していくことは難しいと考え、思い切って父親が営む造林業に転職しました。造林の仕事は家族で経営している方も多く、時間の融通が利きやすいため、家事子育てをしながら仕事をしていてもストレスなく生活できるそうです。転職後、旦那さんも同じ職場で働くことになり、「父親と夫、班の皆に支えてもらいながら仕事と家事を両立し、毎日充実した日々を送っています。」と答えてくれました。

甲斐 裕子さん(諸塚村在住)



高校卒業後、諸塚木材加工センターに入社した晴妃さんは、現在木材の最終段階で行う検品と結束を担当しています。男性の職業というイメージが強いからか、周囲からは「大変そう」と言われることが多いそうですが、実際は、機械化が進んでいて、力仕事をすることはほとんどないそうです。また、男性が多い職場なので、女性ならではの感性が活かせる職場だとも感じているそうです。「景色や空気がきれいな環境で、体を動かしながらの仕事は、終わると達成感と爽快感でいっぱいになります。」と笑顔で話してくれました。

清水 晴妃さん(日向市在住)



以前は宮崎市内で接客販売業に携わっていた尚美さんは、結婚を機に椎葉村に移り住み 15 年になります。現在は 4 人のお子さんを育てながら、家族で林業を中心として働いています。また、林業の傍ら野菜作りも行っています。椎葉村に嫁いだ当初は不安も多かったそうですが、近所の皆さんがとてもフレンドリーで、色々な行事に参加しているうちにいつの間にか溶け込めたそうです。「子どもは地域の宝として大切にされ、伝統ある祭りや行事などにも携われます。人手が足りなかったり、困ったことがあれば地域の皆が助けてくれるんです。」と力強く答えてくれました。

那須 尚美さん(椎葉村在住)

山こ"こち ギャラリー



耳川広域森林組合長賞 撮影 / 山本 この実さん 場所 / 門川町

門川のウユニ塩湖

故郷、門川(庵川)の海岸にて、その日の晩ごはんが早く釣れないか待ちわびているところです。潮の満ち加減が、まるでウユニ塩湖の様で、思わず撮影しました。

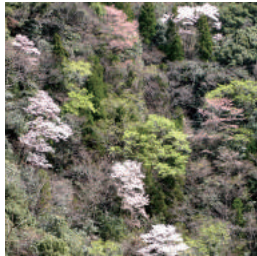


耳川広域森林組合長賞 撮影 / 瀬戸口 義継さん 場所 / 日向市

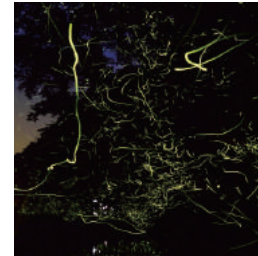
天の川に願いを

クルスの海の展望台からとても綺麗な天の川が見えたので撮影してみました。

四季
あり
あり



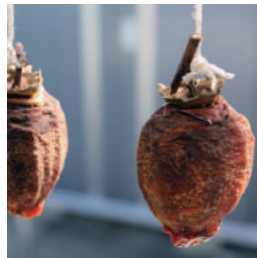
春の山里は、ぽつぽつと山肌に咲く山桜、わらび・ゼンマイ・ウド・たらの芽などの山菜狩りが楽しめます。また、5月には無数のホタルが繰り広げる光の共演を見ることができます。



海沿いには良質の波を楽しめ全国のサーファーが集まるサーフスポット。山にはキャンプ場やログハウスなどの施設が充実。歴史あるユニークな祭りも各地で開催されます。



爽りの秋に彩られた里山、赤や黄色や緑の色の共演。心やすらぐ紅葉狩りの名所がたくさんあります。また、美しい季節の移り変わりを楽しめるトレッキングコースもあります。



この地域を含む高千穂郷には、天孫降臨の伝説があり、様々な形で伝承された神楽を見ることができます。冬の澄み切った夜空には、ぎっしりと詰め込まれた様な星々。その数の多さに圧倒されます。

山こ"こち ギャラリー



優秀賞 撮影 / 一木 博文さん 場所 / 日向市

ジャガイモ掘り

ひいばあちゃんと二人でジャガイモ掘り。

土に汚れながら楽しそうに収穫するひ孫と、笑顔で見守るひいばあちゃん。

ほっこりしました。



耳川広域森林組合長賞 撮影 / 稲田 義美さん 場所 / 美郷町

祭りの子

師走祭り最終日のお別れの日

顔にすみを付け合う行事がありました。



宮崎県北部耳川流域 市町村情報

椎葉村 SHIBA

移住者支援制度

移住者と地域をつなぐ移住サポーターが移住者の支援を行います。また、空き家の改修費用の半額（最大100万円）を助成します。

移住担当課 地域振興課
窓口 TEL 0982-67-3203
窓口 mail shbwebm@vill.shiiba.miyazaki.jp
移住サイト <http://iju.vill.shiiba.miyazaki.jp/>

山暮らし体験メニュー

- ・そば打ち体験
- ・こんにやく作り体験
- ・饅頭、もち作り体験
- ・菜豆腐作り体験

他にも神楽面作り体験、メープルシロップ体験、トレッキング体験、天然うなぎ採り体験、山菜採り体験、癒しの森林浴体験など多数あり

諸塚村 MOROTSUKA

移住者支援制度

【お試し滞在（生活体験）事業】
森の古民家に泊まりながら、村の仕事体験を3日~4ヶ月間まで体験可能。往復の交通費、宿泊費などの支援が受けられます。

【住まい環境整備事業】
住宅改修費の30%、最高120万円の支援が受けられます。

移住担当課 企画課
窓口 TEL 0982-65-1116
窓口 mail mkikaku@morotsuka.jp

山暮らし体験メニュー

- ・昔ながらの釜茶炒り体験
- ・天然ウナギ釣り体験
- ・田舎味噌仕込み体験
- ・ムラに伝わるお神楽料理作り体験

他あくまき作りに挑戦、くるくるバームクーヘン作り体験、木のお弁当箱作り体験、竹炭焼き講座など多数あり

美郷町 MISATO

移住者支援制度

美郷町で農業や林業の技術を学びたい人を支援しています。
・美郷町農林業担い手対策事業
・みやざき林業青年アカデミー
・商工業振興サポート補助金

移住担当課 企画情報課（移住・定住・雇用支援室）
窓口 TEL 0982-66-3603
窓口 mail h-kikaku@town.miyazaki-misato.lg.jp

山暮らし体験メニュー

- ・美郷町お試し滞在
- ・林業体験
- ・こんにやく作り体験
- ・豆腐作り体験
- ・そば打ち体験

など他にも多数あり

門川町 KADOGAWA

移住者支援制度

- ・林業担い手・林業後継者育成支援
- ・新規就農者・農業後継者育成支援

移住担当課 まちづくり推進課
窓口 TEL 0982-63-1140
窓口 mail kikaku01@town.kadogawa.lg.jp

山暮らし体験メニュー

- ・農業体験
- ・漁業体験
- ・SUP（サップ）体験
- ・シーカヤック体験

など他にも多数あり

日向市 HYUGA

移住者支援制度

- ・日向市地域ナレッジコミュニティ型情報サイト「るーくる」（仕事情報）
- ・空き家活用促進事業補助金
- ・産業支援センター「ひむか-B i z」
- ・日向市お試し滞在施設

移住担当課 総合政策課
窓口 TEL 0982-52-2111
窓口 mail sougou@hyugacity.jp
移住サイト <http://www.rucl.jp/>

山暮らし体験メニュー

- ・グリーンツーリズム体験
- ・ワーキングホリデー
- ・サーフィン体験
- ・川遊び体験
- ・竹細工体験
- ・門松作り体験
- ・カヌー体験
- ・そば打ち体験
- ・豆腐作り体験
- など他にも多数あり